

じんかん う  
人間に生まれて “つながりを生きよう” 301

「仏説観無量寿経」(ぶつせつかんむりよじゆきよう)

今年の夏は、猛暑と天候の不安定から、急な大雨が良く降りました、所々で土砂災害も起きました。炎天下の中、外仕事をいまして、手足がつって時々硬直してしまいました。こんな時「水分不足」と思い水をがぶ飲みしておりましたが、皆さんに相談すると、水よりも薄い塩分やミネラルの入ったものを飲んだ方が良いのだからさそうです。市販のものであればスポーツドリンクよりも、経口補水液と書かれてあるものが良いそうです。コンビニなどで売られてある商品で「OS-1」などにあたります。初めての体験でしたが熱い中での仕事には十分気をつけてまいりたいと思います、皆さんもご注意ください下さい。



お盆が過ぎ、急に一日の最低気温が下がってまいりました。それまでは夜になっても二八度の日だったのが、盆明けからは二十度近くまで下がってきまして、夜も寝過ぎやすくなってきました。

しかしながらコロナ感染は拡大し、お盆を通して南砺市でも一〇〇人を超す日がありました、早く終息して欲しいです、日頃から三密を避けるように、消毒、マスク、喚気そして毎朝の検温をしてまいりたいと思います。九月から門徒報恩講が始まります。皆さんのお宅へお参りに伺います、その時はどうかよろしくお願いいたします。



は阿弥陀さんが観られた、私たち凡夫の姿を説かれている御経なのです。仏さまからごらんになった人間観なんです。私が観るのじゃなくて、仏さんから観られた私なんです。

聞法会説教から

9月 真敬寺行事予定

- 4日(日) 日曜学校 午前9時
- 5日(月) 正信偈の会 午後2時
- 11日(日) 真宗教室 午後2時
- 17日(水) 定例聞法会  
法話 直林 真 さん
- 25日(日) 日曜学校 午前9時  
午後 仏具お磨き会 茶話会

## 定例聞法会の聞書

徳成真教寺住職

馬川透流さん

## 「観経和讃」



浄土真宗は三つの御経を読むんです。一つは大無量寿経という御経があります、これは阿弥陀様の本願の教えが説かれてある御経です、そして一番短い御経が阿弥陀経という御経があります、月忌参りの時のよく読ませていただいています御経です。

今日は、観無量寿経という御経についてです。

親鸞聖人はこの観無量寿経の心を著された御和讃を、全部で九首作っておられます。

観無量寿経という御経は昔からいろんな風に解釈される御経なのですけれども、昔から「機の真実（きのしんじつ）」を著す御経だと言われています。言葉は難しいかもしれませんが、「阿弥陀様の本願は誰をめぐらされてるか」ということが説かれていると言われています。

阿弥陀様の本願、願いは十方衆生をみな漏らさずお浄土へ迎え取りたいと願いを立てられたのですが、その阿弥陀様の願いが誰に向けられた願いなのかということを示された御経だと言われています。

す。

正信偈の中にもこの「機（き）」という言葉が出てきます、明如来本誓心機、如来の本誓は機を以てとされている。

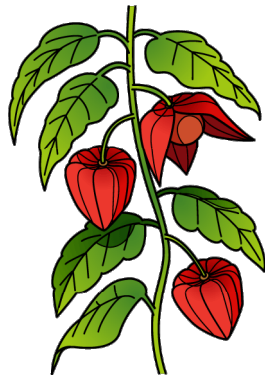
「機」とはいろんな解釈がされているのですけれども、私が聞かせていただいた石川県の平野修さんは「機」のことを、「弾み（はずみ）」とよく言っておられました。この弾みという言葉はどんなときに使っているかというと、「弾みで言ってしまった」「弾みで言うてしまった」と自分が思いもなしに言ってしまった、言ってしまった、予想も付かないで成ってしまったことを「弾み（はずみ）」と私たちは言っています。

これからすると私たちの存在は「遇縁存在」だということです。

縁によってどうなるかわからないのです、頭では「一日腹を立てまい」と思っていても条件が重なるかとカーッと腹を立てるのですね。「今日一日、愚痴をこぼさんぞ」と思っていて、つい愚痴ってしまいます。「欲の心をおこさんぞ」と思っても腹が減ってシヨツピングセンターへ行ったら美味しそうなものがあつたら「食べたいな」と欲な心が起きてきます。

だから私たちは、心の中で「こんなことせんぞ」「こんなこと言わんぞ」「こんなこと思わんぞ」といついても条件が重なったり、縁があつたりすると、どんな恐ろしい根性が、どんな弾みでどんなことをするのかわからない。その私の姿を「機」

(弾み)と示しておられます。観無量寿経に書かれてある、「機」はまさに私たちが、条件や縁でどんな弾みで、どんな根性が出るかわからない、実は阿彌陀様の本願の願いというのはそういう、何をしでかすかわからない私にかけられた願いなんだということをお読みの親鸞聖人はお読みになります。かと思えます。



特に、親鸞聖人がこの観無量寿経を読まれるときは、善導大師という方の眼を通して読まれました。これも正信偈に「善導独明仏正意」(中国の善導大師

おひとりがお仏さまの心をあきらかにされたんですよ)と親鸞さまが褒めておられるのです。

これは何を言わんとされているのかというと、観無量寿経という御経を説法されたお釈迦さまの正しい心を、当時沢山の方が解釈されていましたが、善導大師ひとりだけがその解釈を通じてお釈迦さまの正しい心を、明らかにされたお親鸞聖人は仰るのです。

なので親鸞聖人が観無量寿経を読まれるときは、善導大師のお心を通して、この眼を通してお読みになったのではないかと私は思います。

たとえば、普通は観無量寿経を、無量寿(阿彌陀様)のことを観ると読まれるのです。しか



し私たちはいつも色眼鏡をかけて観ていま  
す。我々はものを観るときに都合が良いか  
悪いかと色づけして分別してみてしまいま  
す、そういう分別をとめて観る(止観の行)、  
ありのままを観なさいという風にほとんど  
のお坊さんが言われたのですが、私たちに  
はどうしても出来ないのです。ありのまま  
に観なさいと言われても私たちには中々観  
られないと親鸞聖人も悩まれたんです。そ  
こで善導大師はこの御経のことを「無量寿  
仏観経」と読まれたんです。

阿弥陀さんが観られた私たち凡夫の姿を  
説かれている御経なんだと、仏さまからご  
覧になった人間観なんです。私が観るんじ  
やなくて仏さまから観られた私なんです。  
私は親鸞聖人も善導大師のこの眼で観無  
量寿経を見られたのでは  
ないかと思いました。

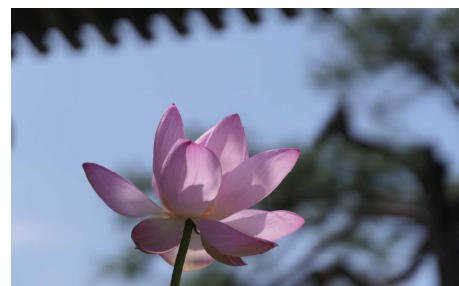
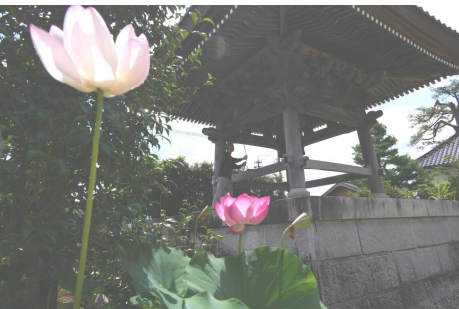
善導大師



先月の行事

- 四日から五日 日曜学校 一泊学習 休止
- 六日(土) 平和の鐘 午前八時十五分
- 七日(日) 真宗教室 午後二時
- 八日(月) 正信偈の会 午後二時
- 九日(火) 平和の鐘 午前十一時二分
- 十五日(月) 平和の鐘 総墓参り経
- 十七日(水) 定例聞法会
- 二十一日(日) 日曜学校 午前九時 休止

広島市長は毎年宣言を発表していますが、「他人の不幸の上に自分の幸福を築いてはならない。他人の幸福の中にこそ、自分の幸福もあるのだ」との言葉を反復しながら鐘を撞いていました。



発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440

真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修

0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692



ホームページを開設しました